

2022/7/26号

印刷

こんにちは、NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)です。

おらけんの活動に賛同いただき寄付をしてくださった皆様に、メールマガジンを送信いたします。

{EMAIL}宛てにお送りいたしております。

おらけんの活動報告や今後の予定などについて、適時配信予定です。
よろしくお祈いします。

金森がダナムバレイに戻ることができました！

最新情報をお届けします。

そして7月号は夏真っ盛り、夏休み企画の情報をお届けいたします。

もちろん！アメリカ・オランウータン探訪記第2弾もあります。

そして来月、8月19日は「国際オランウータンディ」です！

今年もオランウータンの絵画コンクールが開催されます。

あの番組の再放映も決まりましたのでお知らせします。

=====

おらけん金森の

ダナムバレイ通信 16

=====

6月に渡航した蔦谷さんに続き、私も6-7月にかけてマレーシアに行ってくることができました。

まさに2年半ぶりです。

何よりも印象的だったのは、感染症や近年の世界情勢の影響を受けて、マレーシア経済が大変厳しい状況に陥っているという現実でした。

コタキナバル市では、観光客向けの両替やお土産屋だけでなく、市民が利用する飲食店やスーパー、美容院など、あらゆる店舗が閉鎖していました。

打合せや会議で数年ぶりに訪れたいくつかのオフィスでは、多くのスタッフが解雇されてしまった。

テレビをつけても、物価高に戸惑う人々のニュースばかりが流れています。

再会したマレーシアの友人たちも、皆、将来の不安を真っ先に口にします。

実際、私自身もアシスタントたちとスーパーに行ったとき、彼らに毎月渡している食費や給料では全然足りない、ということを感じました。

円安の相当影響も大きく、今後は、このオランウータンのプロジェクトをどうやって資金運営していけばよいのかと、気が遠くなりました。

そのような現実を突きつけられた中で、久しぶりにアシスタントたちと森に入って、オランウータンを探しました。

今回の調査は、できるだけ広範囲を歩いて、この調査地の敷地内には今誰が生息しているのか、定住個体を確認する作業を優先しました。

その結果、16頭ものオランウータンを確認することができました。

森の中で、樹上15mから私たちを見降ろすフランジ雄と視線が合ったときに、「…なんて美しい生き物なんだろう」と久しぶりに感動しました。

マレーシアに來れない期間は、アシスタントがオランウータンの写真を送ってくれましたが、実際に本物に出会う感動は比べ物になりません。

そして、「こんなに美しい生き物にアクセスできる環境と体制はやはり価値がある。

経済的には問題が山積みだけれど、まだやれることはあるはずだ。」と思いました。

現地を訪問し多くの課題がむき出しになりましたが、地元の人々やNPO、研究者らと協力をしながら、やれることからやっていきたいと思ひます。

=====

8月最後の日曜日のお昼、


ご参加お待ちしております！

おらけんバーチャル動物園

日本オランウータン巡りVol.4

おうちから日本モンキーセンターの
オランウータン？を観察しよう???

=====

● んバーチャル動物園の第4回となります今回は、なんと！日本モンキーセンターにご協力いただくことになりました！。

えっ？日本モンキーセンターって、オランウータンいるの??？とすぐにピンときた方も、そうでない方も…ぜひ、こちらのイベントにご参加いただき、もっともっとオランウータンについて詳しくなっちゃいましょう！

・地球上に暮らす様々なサル仲間と会える動物園、愛知県犬山市の日本モンキーセンターってどんなところなのかな？

園内にいるサルたちや貴重な標本コレクションを前に専門家が解説する贅沢な夏休み特別企画！

・キュレーター・新宅勇太さんといっしょに??？の観察？

(※??？は、当日のお楽しみ！)

・附属動物園部長・綿貫宏史朗さん特別講演「日本のオランウータン飼育史」

・イベントのポスターは、おらけん公式サイトをご覧ください。

↓

<https://www.orangutan-research.jp/news/event/20220719.html>

●開催日時2022年8月28日（日）12:00から13:30頃まで

・開催方法 オンラインZoom ウェビナー

・小学校高学年以上向け

・参加費 無料

・定員 先着500名

・日曜勤務の方も昼休みに参加できる（かもしれない）お昼の12時開始です。

・スマホ、パソコンのどちらからも申し込めます。

・どなたでもご参加いただけますが、事前登録制となっておりますので、下記参加登録フォームより、氏名、Eメールアドレスを入力してください。

<https://forms.gle/gLkCBaemKd1MHQGC9>

・参加登録送信後にGoogleから登録したアドレス宛に登録内容コピーメールが届きます。

もし該当メールが届かなかった場合は、迷惑フォルダをご確認の上、登録したアドレスに「印刷」がなかったかご確認ください。

登録いただいたアドレス宛に、日にちが近づいたらおらけんよりメールにてイベント接続案内メールを送信いたします。

メールが届かなかった場合には、氏名とメールアドレスを「おらけん事務局」

info@orangutan-research.jp

までメールにて、ご連絡ください。

・登録いただいたアドレス宛に、日にちが近づいたらおらけんよりメールにてイベント接続案内メールを送信いたします。

・また、参加登録時に、オランウータンに関する質問を入力することができます。

質疑応答コーナーでお答えしたいと思います。

(時間の都合上、全ての質問に対してイベント内で回答することはできませんのでご了承ください)

●お願い

当日接続する予定のデバイス1回線ごとに申し込みをお願いいたします。

1台のPCで2人以上で視聴する場合は、代表者名で1回申し込みください。

家族2名で、スマホ1台とアイパッド1台などの合計2回線接続の場合は、それぞれのお名前前で2回お申し込みください。

回線数管理のため、「1回線ごとの事前申し込み」ご協力よろしくをお願いいたします

なお、接続できる回線数に制限があります。

上限に達した場合は申し込みを締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

ご参加心よりお待ちしております。

公益財団法人日本モンキーセンターは、世界屈指のサル類動物園です。

霊長類の飼育展示種数は、約60種800頭と世界最多！！

公式サイトはこちら

(外部サイトに移動します)



<https://www.j-monkey.jp/>

印刷

=====

小川珈琲 オランウータンの森
絵画コンクール2022のお知らせ

=====

●今年も絵画コンクールが開催されます。
皆さんが描いたオランウータンの絵を募集します。

今年のテーマ

2030年オランウータンの森～考えようSDGs～

オランウータンとともに見る素敵な未来のイメージを描いてください。
応募作品の中から受賞作品を選考し、入賞者には入賞作品をプリントしたオリジナルエコバッグが贈呈されます（各部門4名）。
また、受賞作品は秋に、小川珈琲本店や京都市動物園などで展示を予定しております。

応募期間：8/1から8/31まで

応募資格：幼児部門（0から6歳）、小学生部門（小学校1年生から6年生）、大人部門
（中学生以上）

応募作品のサイズや表現方法、応募票のダウンロードなど、詳しくは下記をご覧ください。

(外部サイトに移動します)



<https://www.oc-ogawa.co.jp/news/1584/>

=====

NHKBSプレミアム ワイルドライフ

「マレーシア ボルネオ島 オランウータン

一帯の森に集う」再放送（3回）

印刷

=====

●8月8日(月)20:00から21:00

●8月15日(月) 8:00から9:00

●8月23日(火)15:00から16:00

2019年放送の、マレーシア・ボルネオ島にあるダナムバレイ保護区に生息するオランウータンを撮影したドキュメンタリーが再放映されることになりました。

奇跡のような貴重な映像に心奪われます。

おらけん理事の久世・金森・田島も登場しますので、ぜひこの機会にもう一度！

詳しくは下記をご覧ください。

（外部サイトに移動します）

↓

<https://www4.nhk.or.jp/P5163/x/2022-08-08/44/66836/2097016/>

=====

ラジオ放送 FMヨコハマ

FUTURESCAPE

おらけん代表 黒鳥英俊が出演

=====

●7月23日放送のFMヨコハマの番組「FUTURESCAPE」に、黒鳥英俊が出演しました。

放送日7月23日土曜日

放送時間9時から11時（黒鳥の出演は10時から10時半頃）

ラジオの生放送中なのに、小山薫堂さんが黒鳥の著書「恋するサル」を読みはじめお話しなくなったとか。

ラジコのタイムフリーで23日から1週間、聴取できます。

（外部サイトに移動します）

↓

<https://radiko.jp/#!/ts/YFM/20220723090000>

●「生きるサル 類人猿の社会で愛情について考えた」

印刷
著者 黒鳥英俊

書店、ネット書店にて購入できます。

発行CCCメディアハウス 価格1,650円

ISBN978-4-484-20226-6

(外部サイトに移動します)

↓

<http://books.ccmh.co.jp/list/detail/2290/>

=====

おらけん田島の

アメリカ・オランウータン探訪記

2 ポートランド・オレゴン編

=====

●第2弾 オレゴン州ポートランド・オレゴン動物園

オレゴン動物園（旧ワシントンパーク動物園）は古い歴史を持ち、オレゴン州ポートランドの郊外にあるワシントンパークという大きな公園の一角にあります。

ワシントンパーク公園には日本庭園もあり、観光名所として有名です。

ここもシアトルと同じ入園料は24ドルでした。

オレゴン動物園はアメリカで初めて飼育下のゾウの繁殖に成功した園で、ゾウの飼育展示に力を入れています。

実際にゾウの展示場は驚くほど大きいもので、室内展示場の規模は日本では決して見られないレベルでした。

私はボルネオ島の野生のゾウに出くわしたとき以来初めて、ダッシュをするゾウを見ました。

オレゴン動物園の展示方針はシアトルのウッドランドパーク動物園と異なり、行動展示に力を入れていることが、川端裕人さんの著書「動物園にできること」でも詳しく書かれています。

同様に類人猿の展示も、シアトルは人工物が少なく自然に見える景観の再現に力を入れている一方、オレゴンでは人工物のタワーを存分に立てて類人猿の樹上性行動を引き出すことにデザインの主眼が置かれているようでした。

とはいえ、オレゴンが景観展示を全面的に否定しているわけではなく、クマを中心としたアメリカ北西部の生態系についての展示は、野生生息地の景観に浸らせるような展示も印象的でした。

他にもラッコの水槽展示もおもしろかったです。

水槽は地下の方へ続いており、水面下の洞窟にはケルプや魚が展示されており、その後ろをラッコが潜水するという景観は初めて見るものでした。

少し話はそれますが、それほど遠くないワシントン州シアトルとオレゴン州ポートランドは雰囲気異なる都市です。

Amazonやマイクロソフトの本社があり、競争が激しく、家賃は高いが給与も高い現代的な都会のシアトル。

一方ポートランドはNIKEやColumbiaの本社があり、せかせか働くより一度きりの人生をもっと楽しもうよというリベラルマインドの人が多い都会です。

「良い天気だ、仕事は切り上げて家のテラスで妻とビールを飲もうかな」と話す教授や、庭に卓球台とジャグジーを置き、夜な夜な人を集めてビールを飲みながら卓球パーティーを開く会社員、ワーカホリックな日本人から見るとポートランドの人生を楽しむ文化はうらやましく見えました。

そうした気質の違う2つの都市にある動物園の運営フィロソフィーが異なっても不思議はないかなと感じました。

シアトルではオランウータンはアジアゾーンに、ゴリラはアフリカゾーンにそれぞれの地域や生態系ごとに分けられて展示されていましたが、ここオレゴン動物園では霊長類としてまとめられ、チンパンジーとオランウータンが隣り合って飼育されていました。

ちょうど2週間前に出産したオランウータンのメスKitraは産休中ということで室内展示が閉鎖されていました。外に姿を見せるかどうかは本人に任せるといった方針でした。キーパートークではオランウータンもチンパンジー同様、社会性のある動物なんだと言ったのがとても印象的でした。

印刷

のんびり眺めていると、なんと2週間前に出産したばかりのメスのキトラが姿を見せ、さらにフランジオスのボブが同じ放飼場へ出てきて、親子3頭が何事もなく同居している光景を見てとても驚きました！

おそらく万が一、オスが暴力的にふるまうことが万が一あったときの対策として、メスだけが通れるような小さな入口と避難先のセーフルームが用意されているのだと思います。日本ではオランウータンはオス・メスを別居させることが一般的ですので、私の目の前で子連れメスがフランジオスと仲良く過ごしているのを見て、とてもカルチャーショックを受けました。ボブとキトラの間に生まれた女の子の名前は最近決まり、ジョリーン(Jolene)となりました。

今回は、著名なオランウータン研究者が園長を務めるインディアナポリス動物園へ行ってきました！

●アメリカの動物園をめぐってレポートするこの企画、メルマガには写真を添付できないので、写真はおらけんHPに掲載します。

第2弾 オレゴン州ポートランド・オレゴン動物園 はこちら

↓

<https://www.orangutan-research.jp/news/report/20220725.html>

=====

スマトラ島のオランウータン動画第3弾

「OIC～スマトラオランウータンを守る手」公開中！

=====

●OIC代表パヌートさんから、みどころ紹介
動画の最初(0:34)と最後(11:44)に森の映像がでています。

実はCinta Raja forestと呼ばれる同じ場所です。グヌンルーセル国立公園内の、タンカハン (Tangkahan)に近い森です。私たちの活動でよみがえった様子をぜひご覧ください。

印刷

●ご視聴がまだの方はぜひ、下記リンクからご覧ください。

↓

<https://youtu.be/8m8JqA95bV4>

●オランウータン・インフォメーション・センター (O I C) とは

スマトラ島のオランウータン保全に関する活動を行っているNGO。

インドネシア・スマトラ島北部のメダン市に本部を持ち、スマトラオランウータン・タパヌリオランウータンの生息地を活動範囲に、オランウータンの救出・保護や、森林パトロール、森林再生、地元住民への環境教育、エコファーマリングなどを行っている。

2001年にPanut Hadisiswoyo氏 (動画のナレーションはPanut氏本人によるもの) によりインドネシア人自身で運営する団体として設立された。

以後着実に活動を広げ現在は100名以上のスタッフが日々活動している。

O I C公式ウェブサイト

<https://orangutancentre.org/>

=====

継続して活動に取り組むための

ご寄付のお願い

=====

●日本オランウータン・リサーチセンターの活動は、会員様からの会費とご寄付によって支えられています。

皆さまからのご寄付は、オランウータンの調査や保全活動、講演会のために大切に活用させていただいております。

オランウータンを守るためにも、ぜひ皆さまからのご支援をお願いいたします。

◇【賛助会員】

当NPOの活動理念に賛同し、団体の活動を応援・支援して下さる会員様を募集しています。

https://congrant.com/credit/form?project_id=1077

◇【毎度ご寄付】

1【印刷】その都度ご寄付いただく単発の寄付も募集しています。都度寄付は皆さまがご支援いただけるお好きなタイミングで、その都度ご寄付いただくプランです。ご寄付の時期や金額もその都度、自由にお決めいただくことができます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2057

◇【毎月の寄付】

毎月少額のご寄付をいただき活動を支えるマンスリーサポーターの方を募集しています。お支払いは月額1,000円・3,000円・5,000円からお選びいただけます。

https://congrant.com/credit/form?project_id=2058

=====

【編集後記】

先日、夏鳥のサンコウチョウを見ました。

澄んだ鳴き声がずっと森の中に響いているのに、なかなか姿を見ることができませんでしたが、木から飛び立つ一瞬、青いアイリングに黒いリボンの尾っぽを見ることができました。

サンコウチョウは、スマトラやボルネオなどの東南アジアから渡ってきます。

数を減らしていると聞きますが、日本の事情というより、東南アジアの森林減少が影響しているらしいとのこと。

おらけんのYouTubeで、スマトラ島の熱帯雨林で活動するO I Cの動画を公開しています。

彼らの活動と、スマトラ島の森の様子をぜひご覧ください。

(那須)

今後もオランウータンについて様々な情報を発信していきますので、オランウータンや研究のことなどについて興味をもっていただけると嬉しいです。

よりわかりやすく、おもしろいメルマガにするために、サポーターの皆さんからご意見、ご感想をお待ちしています！

事例メールアドレス：

印刷
info@orangutan-research.jp

=====

■ NPO法人日本オランウータン・リサーチセンター(おらけん)

Japan Orangutan Research Center (JORC)

<http://orangutan-research.jp>

■ facebookにて、おらけん最新情報を発信中！

<https://www.facebook.com/orangutan.research/>

■ 登録解除やアドレス変更は、下記アドレスまでご連絡ください。

info@orangutan-research.jp

◇メルマガ解除はこちらよりも行うことができます。

{DELURL}

=====

{YEAR}年{MONTH}月{DAY}日{HOUR}時{MINUTE}分{SECOND}秒 {WEEK-JP}曜日

印刷